

## ベルリン

5月にドイツは祝日で連休があったため、ベルリンに行ってきました。トリアはドイツの西、ベルリンは東にあるので電車を二回乗り換えて7時間かかりました。合計四日間ベルリンに滞在したので、私が見てきたベルリンを紹介してきたいと思います。

最初は、イーストサイドギャラリーです。これは、ベルリンの壁に芸術家たちが絵を描いたことを契機として観光地になった場所です。1キロ以上にも続く壁に様々な絵が描かれています。雰囲気明るくなるものから、暗くなるものまで見るだけで考えさせられるようなものがありました。左の写真は、イーストサイドギャラリーでも一番有名な絵で、『兄弟のキス』という題名で、ドイツ・ソ連両方の代表を描いたものです。ベルリンの壁がある時代では描くことが難しい内容であり、描かれたこと自体がドイツ統一を意味しているような気がしました。



次は、シャルロッテンブルクについてです。ここは、私がベルリン旅行に際して一番行きたかった場所でした。ベルリンの西側に位置するこのシャルロッテンブルク宮殿は約300年前に建造が開始され、その後百年近くかけて現在の形になったそうです。左の写真は、宮殿を庭から撮った写真です。白を基調に緑の屋根がとてもきれいです。また、内部も部屋ごとに豪華な装飾が施されています。他にも、中国の陶器などを集めた陶磁器の間など見るだけで何時間も時間をつぶせる場所でした。ベルリンの中心地からは少し離れていますが、ノイシュヴァンシュタイン城が好きな人にはとってもおすすめです。



最後に、紹介したいのがベルリンの街の風景です。ドイツでは至る所で壁に描かれた絵を見ることが出来ます。特にベルリンでは、街中がキャンバスかのように至る所で描かれた絵を見ることが出来ます。例えば、この写真のように建物に書いている場合もありますし、道に書かれた落書きなども見ることが出来ます。ただ基本的にどれもとてもきれいで見ているだけで面白いです。ぜひ、ベルリンを訪れたら、いろいろ探してみるのもどうでしょうか。

